

1
特集 木を使って守る生物多様性

研究ディレクター 尾崎研一

◆ 歴史資料から知る過去の林野利用

関西支所 岡本透

◆ 林業が生物多様性の保全に果たす

現代的な役割―若い植栽地の価値―

森林植生研究領域 山浦悠一

◆ 生物多様性の鍵となる溪畔林の役割とその管理

研究評価科 吉村真由美

◆ 木材を使うことと、生物多様性を守ることに

両立をめざす森林管理

研究ディレクター 尾崎研一

◆ 伐採地でふえる花粉媒介昆虫たち

森林昆虫研究領域 滝久智

◆ 南の島の希少なキツキ

ノグチゲラの住宅事情と人の暮らしの関わり

九州支所 小高信彦

◆ 小面積皆伐で人工林の樹木の多様性を保全する

森林植生研究領域 山川博美

◆ トドマツ人工林における保残伐施業の実証実験

北海道支所 佐藤重穂

◆ 森林計画制度における生物多様性

―市町村の取り組み―

森林管理研究領域 山田祐亮

◆ 木材貿易が生物多様性に及ぼす影響

生物多様性研究拠点 古川拓哉

16
研究の“森”から

◆ 国産トリュフの人工栽培を目指す

―新たな森林資源の利用―

九州支所 木下晃彦他

18
森林・林業の解説

◆ 冬の樹木を見てみよう―第2弾

「夏から冬支度していただきます」

森林植生研究領域 倉本恵生

20
インフォメーション

◆ 森林講座のお知らせ

◆ 「森林総合研究所研究報告」について

◆ 森林総合研究所研究報告